

# 愛し子へ

—あの日をほぐす展望台—

場所は海軍壕公園。

今を生きる私たちが出来ることは、  
人々が築き上げた平和を自覚し、守ること。

「くぐる」を繰り返し  
壕での壮絶な記憶を  
昇華する

滑り台の頂上に立ち  
幼少期の平穏な記憶を  
呼び起こす

戦死者やここを訪れた人々のあの日の記憶をほぐし、  
穏やかな気持ちにしてくれる建築物を提案します。

## 記憶をほぐすために

### 新鮮な空気を吸うこと

壕の中で過ごした人々、兵士が戦時中に求めたこと。  
何よりも生きている実感があったと言います。  
思わず深呼吸するような、明るさと軽やかさを。

### こどもに戻ることに

小さい頃は誰もが、守られるべき“愛しい子”  
であったはず。大人になるとつい忘れてしまいます。  
姿勢を低くして、変わらない等身大の気持ちに。

### 景色を記憶づけること

戦後、那覇のまちは大きく栄えました。  
飛行機は人々の幸せのために飛んでいます。  
守るべきものの輪郭を、柔らかくはっきりと。

### かたちをほぐす

食べ物や子どもの魔除けとして使われる  
「サングラー」をモチーフに。  
片方の結び目をゆるめ、ほぐします。

あくまでも幾何学形態を使用。曲面でありながら、比較的再現しやすいかたちとなるよう設計しました。

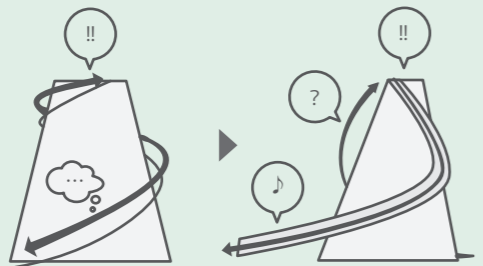
### 展望機能をほぐす

従来

いい景色を見た後、  
行きと同じ道を帰る

この建築では

向かう、景色を見る、帰るまで  
一連のストーリーをつくる



展開図 S=1/100

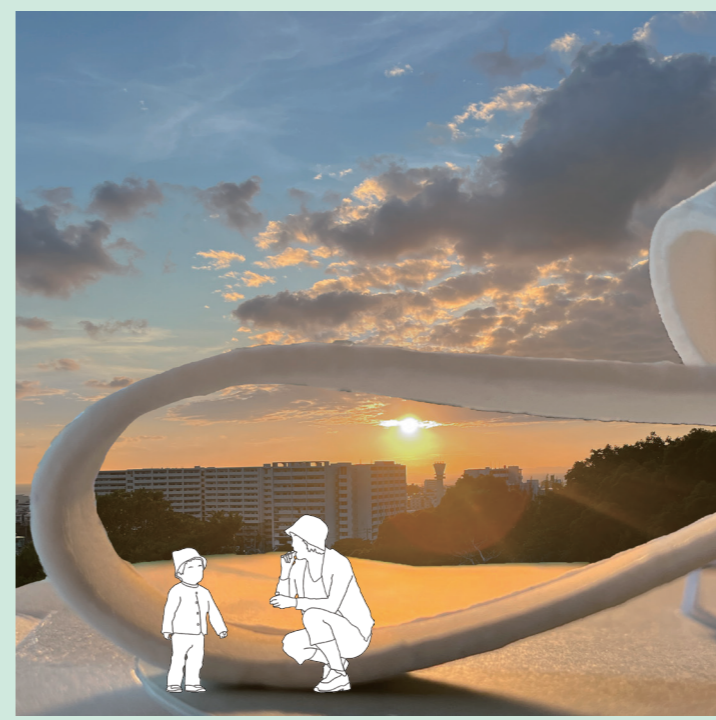
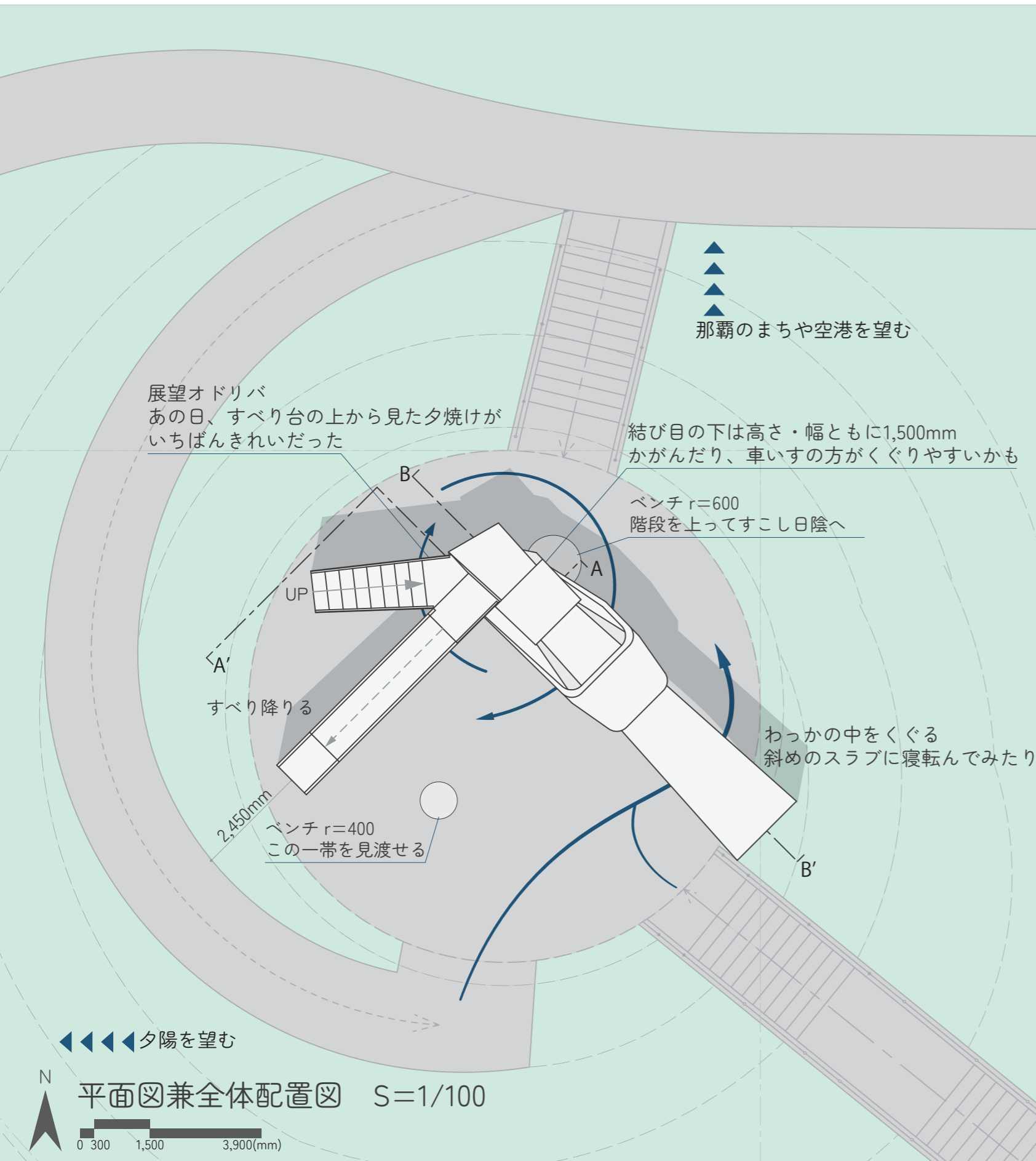
各点を断面図と照らし合わせながら結びと  
模型がつけられます。

断面図 S=1/100

A-A' 断面図

B-B' 断面図

0 300 1,500 3,900(mm)



回遊したり、通り抜けたり、休んだり、どこからでもくぐりぬけられる空間をつくりました。  
その先はどこも明るく開けていて、深く息を吸うことができます。  
展望機能はすべり台に置き換えました。子どもに戻る行為を経由して、大人も守られる存在に。  
栄えたまちの景色と平穏な遊び場の景色を一望できます。  
平和を、自分を、自分の大切な人を愛おしく思うための展望台です。